

くまのもりお通信



Vol.01
2015 July

TOPCS

新人議員研修に参加しました。

3日間に渡る研修は、みっちりスケジュール!2日間は、各部署のレクチャー、最終日は、市内の各施設での現場レクチャーでした。



新人議員研修3日目、金沢学生のまち市民交流館前にて。
2015.5.20

発行/金沢市議会議員 熊野盛夫 (自宅)金沢市松村7丁目36-13

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

✉ info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所 (076-256-3757

金沢市みどり2-6-2 FAX.076-256-3836

金沢市役所〈会派みどり〉 (076-220-2448

金沢市広坂1-1-1 FAX.076-223-0116

ホームページ <http://kumanomorio.com>



皆様こんにちは、いよいよ本格的に暑くなって参りましたが、お元気でお過ごしでいらっしゃいますか?しっかりと水分補給を忘れず、笑顔で乗り切りたいものです。また、太陽の恵みを受けて稲や野菜、果物がすくすく育っています。お世話されている農家の皆様のご苦勞に心より感謝申し上げます。おひさしぶりです、くまのもりおです。

4月の市議選に当選したあと多くの有権者の方から「市民に選ばれた以上は議会で自分の思いを述べると共に、市民の声を代弁しなくてはいけない」そう言われました。まだまだ市政について知らない部分も多々ありますが、とにかく選んでいただいた皆様への気持ちと、当選から間もないこの短い期間に寄せられた多くのご意見を元に質問をさせていただきました。その報告をさせていただきます。(質問は一般質問の最終日、7月1日に行いました。)

「おもてなしの心」について

その① 新幹線開業と共に、金沢への観光客が増加していますが、新幹線開業効果を持続させるためにも「おもてなしの心」が鍵になります。そして、11月に開催予定の金沢マラソンです。応募総数を見ても素晴らしく、山野市長の公約が金沢を大きくプロモーションすることは間違いありません。しかし、この金沢マラソン、募集枠の一般男子、一般女子が年齢別に表彰枠があるのに、募集枠のある障がいのある方の表彰枠がありません。控えているのは2020年、東京オリンピック・パラリンピックです。是非、障がいのある方の表彰枠の設置をご検討下さい。

ちなみに、2007年からはじまった東京マラソンでは第1回目より、フルマラソンではありませんが障がいのある方の表彰枠が細かく設置されています。

市長 私も知的発達障がいを持ったお子さんのボランティアに携わらせて頂いているが、表彰の区分が複雑でどう区切るかが非常に難しい。今年は第1回目の大会なので、障がい者の皆さんには優先して参加して頂く形を取りました。とにかく成功させることに全力を尽くし、参加者、

関係団体の皆さんのご意見をお聞きしながら、また、他の大会等参考にしながら研究していきたい。

その② 昨年の年末年始に金沢を訪れた観光客から、新聞にも載りましたが金沢21世紀美術館が閉館していたことが残念だったとの声が多く聞かれました。ゴールデンウィークにも匹敵する長期の連休である年末年始は、新幹線開業後も多くの観光客が訪れることが予想されますが、開館しては如何ですか。また、開館の際のスタッフには特別手当があってもよいのでは。金沢リピーター率のアップに必ず繋がると思われます。

ちなみに、県の管轄の兼六園は大晦日はオールナイト営業、正月三が日も営業しています。

市長 12月29日から1月3日までの休館が条例で定められています。しかし、2日、3日は地元の商店街の初売り、初詣にちなんで臨時閉館しています。その際の職員給与は金沢市に準ずる金沢創造財団の給与体系に基づき、特別手当はありません。

放課後等デイサービスについての質問

障がいのあるお子さんを放課後預かっていただけるこのサービスは親御さん、特に仕事を持った親御さんから大変ありがたいと思われるサービスです。金沢市は今年度、1ヶ月の利用上限を12日から20日に拡大しました。利用者の要望に応えたこの変更は、市民に寄り添う行政サービスとして素晴らしい決定だと思われそうですが、石川中央都市圏の他の市町では23日がスタンダードになりつつあります。23日になると、親御さんの正規雇用の道が開けるのです(シングルの親御さんには重要な問題)。是非、金沢も23日を目指してみてもは。現状、既にいっぱいいっぱいなら、さらなる施設、そして施設職員の充実も考えるべきでは。

市長 石川中央都市圏の近隣の市町とは、放課後等デイサービスの利用においては、既に連携協力をしております。障がいのあるお子さんの放課後の居場所づくり、さらには保護者の就労支援等の観点から、今後もサービス提供体制の充実に努め、利用日数の拡大を検討したい。

〈裏面につづく〉

小中一貫教育について

その① 先の3月議会に、大徳地区に小学校を新設し、それに合わせて小中学校の通学区の見直すとの答弁が教育長よりありましたが現在の進捗状況は？

教育長 大徳小、木曳野小の児童数、学級数が多く、規模の適正化のため再編計画に載せました。用地の選定などについて検討を進めることとしており、時間を要するが、地域の方、保護者の方とも協議をしながら進めていきたい。



その② 金沢市が進める小中一貫教育と中学校通学区の見直しについて、校区重複型を校区一体型に変える方針は地域コミュニティにも大きな影響が出ると思われるがどのような話し合いを進めていくのか。また、泉小学校、泉中学校で施設一体型が着手されるが、すべて施設一体型を目指すのか、校区一体型との併存で行くのか。

教育長 7月3日より見直し対象の全小中学校の保護者を対象に市内14箇所で開催していくが、教員相互の授業参観、児童生徒の交流、小中学生の合同会議など金沢市独自の小中一貫教育を目指す。すべてを施設一体型にするのは予算もかかることから、校区重複型を全て解消し校区一体型との併存を目指す。

再生可能エネルギーのさらなる普及について

その① 2014年に世界で建設された太陽光や風力など再生可能エネルギーの発電設備容量は9700万キロワット。総容量は2013年比、約17%増の6億5700万キロワットに（21世紀の再生可能エネルギーネットワーク〈本部パリ〉発表による）。最大の要因は中国での急拡大。日本も太陽光発電では14年度は970万キロワットで世界2位。世界で13年度から14年度にかけてエネルギー消費量は増えたが、二酸化炭素排出量は変わらず。つまり、再生可能エネルギーはエネルギー対策はもちろん、温暖化対策にもなり経済効果につながることははっきりした（環境エネルギー政策研究所／飯田哲也所長）。

金沢市も、2013年に掲げた「金沢市再生可能エネルギー導入プラン」において、2020年までにエネルギー自給率10%目標を立てているが現在の進捗状況は。そのプランは再生可能エネルギーの導入と省エネルギー推進の2本柱で進めることになっているが、進捗状況が思わしくないのであれば、NPO市民バンクが実績を上げている家電買い換えの無利子融資をしては如何ですか。

市長 用水を利用したマイクロ水力発電、保育所の屋根を利用した市民発電所の設置等、13のモデル事業のうち11事業に着手しているが、平成26年度末に8%を超える見込み。

今後共、再生可能エネルギーを率先して導入し、地球温暖化防止の意識啓発、省エネ活動の推進を通じ着実に実施していく。家電の買い替え融資は、家電購入方法の多様化、購入後の節電効果の検証など制度の導入には課題が多い。

その② 超高齢化社会の一步手前の今日、再生可能エネルギーへのさらなる投資は次世代の健全な財政運営のために何よりも必要だと考えますが如何ですか。

市長 現在、国による再生可能エネルギーの固定価格買取制度の見直しが進められているところで収支見直しも立てにくいのと、設備投資には多額の費用がかかります。既に様々な施策をしているのでご理解を。

その③ 3.11東日本大震災後、日本を代表する文化都市京都市では門川市長自らが関西電力の株主総会において脱原発議案を提案している（24,25,27年）（26年は塚本副市長）。京都市民はもとより、世界遺産登録された文化財の数々、世界中から訪れる観光客の皆様の安全安心を考えれば当然の義務と考えますが、金沢市長も北陸電力の株主総会で脱原発議案提案をされては如何ですか。ちなみに、大阪市も同じくです。世界の交流拠点都市を目指すのであればもはや、想定外は許されず、交流人口の拡大とともに金沢市の責任も増大しています。志賀原子力発電所の活断層の問題に加え、日本列島全体が地震の活動期に入ったとも言われる今日、金沢市の役割は重要だと思われます。

市長 金沢市が株主として意識しなければならないことは2つ。「安全」と「良質な電気の供給」
まず安全を考える際は原子力、火力、水力であれ「井戸から車輪まで」という視点で考えるべき。火力の燃料の石炭は掘り出す際、多くの事故が起こっている。そして、北陸電力には良質な電気の安定供給を強く求めていく。今のところ、原発は国の方で責任をもって対応をされているので脱原発議案を提案するつもりはない。

高齢化等に対応した市営住宅のあり方検討会について

その① 6月24日に第一回の検討会が開催されました。有識者はもちろんですが、お住まいされている方のご意見もお聞きしては。

市長 検討会では将来を見据えた議論をしている。有識者、公募委員に加え、委員のなかには、町会関係者、民生委員、児童委員等、日頃から入居者の話を聞いている方もいるので皆さんの意見は反映される。

その② 入居者の世代の偏りをなくすることが世代間交流につながると思いますが、入居者を気持ちよく割り振るためにかなりユニークな発想の間取りや仕掛けが必要かと思われそうですが、そのアイデアを授業やゼミ、夏休みの宿題等と絡ませながら小中生から大学生に至るまで広く学生さんから募集しては如何でしょうか。この検討会のテーマは私達のこれからの問題であり、若いうちからそのことに真剣に向き合うことは児童学生らにとっても必ずプラスになると思われます。

市長 世代を超えて意見を求めることは非常に大事。大学の住宅ゼミナールに参加する学生さんよりご意見を戴いておりますが、さらに求めてまいりたい。市営住宅の世代間の偏りもなくしていきたい。